

# I 概 況

I-1 賀茂地域局管内図



凡 例

-----	市町境界
■■■■■	伊豆急行線
————	主要道路

## I-2 市町の沿革

市町名	年月日	沿革	総面積 (可住地面積, 割合)
下田市	明 22. 4. 1	町村制施行により、下田町、稲梓村、稲生沢村、浜崎村、朝日村となる。	104.38 k m <sup>2</sup> ( 24.81 k m <sup>2</sup> , 23.8 % )
	明 29. 8. 20	白浜村、浜崎村から分村。	
	昭 30. 3. 31	下田町、稲梓村、稲生沢村、白浜村、浜崎村、朝日村の6ヶ町村合併し、下田町となる。	
	昭 46. 1. 1	市制施行し、下田町が下田市となる。	
東伊豆町	明 22. 4. 1	町村制施行により、城東村、稲取村となる。	77.81 k m <sup>2</sup> ( 19.60 k m <sup>2</sup> , 25.2 % )
	大 9. 12. 1	町制施行し、稲取村が稲取町となる。	
	昭 34. 5. 3	稲取町と城東村合併し、東伊豆町となる。	
河津町	明 22. 4. 1	町村制施行により、上河津村、下河津村となる。	100.69 k m <sup>2</sup> ( 17.28 k m <sup>2</sup> , 17.2 % )
	昭 33. 9. 1	上河津村と下河津村合併し、河津町となる。	
南伊豆町	明 22. 4. 1	町村制施行により、竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三浜村、三坂村となる。	109.94 k m <sup>2</sup> ( 24.52 k m <sup>2</sup> , 22.3% )
	昭 30. 7. 31	竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三浜村、三坂村の6ヶ村合併し、南伊豆町となる。	
松崎町	明 22. 4. 1	町村制施行により、岩科村、松崎村、中ノ郷村となる。	85.19 k m <sup>2</sup> ( 13.47 k m <sup>2</sup> , 15.8% )
	明 24. 6. 11	中ノ郷村が中川村と改称。	
	明 34. 3. 15	町制施行し、松崎村が松崎町となる。	
	昭 30. 3. 31	松崎町と中川村合併し、松崎町となる。	
西伊豆町	昭 31. 6. 1	岩科村が松崎町に編入。	105.54 k m <sup>2</sup> ( 11.31 k m <sup>2</sup> , 10.7% )
	明 22. 4. 1	町村制施行により、仁科村、田子村、宇久須村となる。	
	明 29. 5. 14	安良里村、宇久須村から分村。	
	昭 31. 3. 31	仁科村と田子村合併し、西伊豆町となる。	
	昭 31. 9. 30	安良里村と宇久須村合併し、賀茂村となる。	
	平 17. 4. 1	西伊豆町と賀茂村合併し、西伊豆町となる。	
		管内計	583.55 k m <sup>2</sup> ( 110.99 k m <sup>2</sup> , 19.0% )
		県計	7,777.43 k m <sup>2</sup> (2,727.11 k m <sup>2</sup> , 35.1% )

資料：「静岡県市町村名 100 年の変遷」静岡県地方自治法施行 40 周年自治制公布 100 年記念事業推進協議会、  
「市町の指標 平成 28 年度」静岡県経営管理部自治局など

(注) 可住地面積＝総面積－(林野面積＋湖沼面積)

## I-3 地域の主なできごと

時 期	で き ご と
昭和36年 12月 10日	伊豆急行開通
昭和37年 8月 29日	東伊豆有料道路全区間開通
昭和46年 1月 1日	下田町が下田市となる
昭和47年 12月 12日	南伊豆有料道路開通
昭和48年 11月 ～	石油危機（オイルショック）
昭和49年 5月 9日	伊豆半島沖地震
昭和50年 10月 7日	前線通過による集中豪雨
昭和51年 7月 11日	伊豆半島を中心とする大雨
昭和51年 8月 18日	河津町を中心とする地震
昭和51年 10月 9日	集中豪雨
昭和53年 1月 14日	伊豆大島近海地震
昭和54年 10月 19日	台風20号
昭和55年 6月 ～7月	伊豆半島東方沖群発地震
昭和55年 7月 ～8月	異常気象（冷夏）
昭和57年 4月 1日	東伊豆有料道路無料開放
昭和57年 8月 ～9月	台風襲来（8. 1 台風10号、9. 12 台風18号）
昭和58年 8月 1日	南伊豆有料道路無料開放
昭和58年 8月 16日	台風5号
昭和59年 9月 1日	伊豆半島東方沖群発地震
昭和63年 6月 ～8月	異常気象（長雨・冷夏）
昭和63年 7月 ～8月	伊豆半島東方沖群発地震
平成元年 6月 ～7月	伊豆半島東方沖群発地震（7. 13 海底火山噴火）
平成3年 9月 10日	伊豆半島南部の集中豪雨（9. 10～11. 12 伊豆急行線一部不通）
平成5年 5月 ～6月	伊豆半島東方沖群発地震
平成5年 7月 ～8月	異常気象（長雨・冷夏）
平成7年 9月 ～10月	伊豆半島東方沖群発地震
平成9年 3月	伊豆半島東方沖群発地震
平成10年 4月	伊豆半島東方沖群発地震
平成10年 9月 23日	伊豆半島南部の集中豪雨（国道135号通行止め）
平成11年 12月 31日	伊豆新世紀創造祭開催（1999年12月31日～2001年1月1日）
平成12年 3月 18日	「天城トンネル」有料道路無料開放
平成12年 6月 ～	三宅島噴火及び新島・神津島近海地震
平成16年 10月 9日	台風22号（石廊崎にて観測史上最大瞬間風速を観測）
平成17年 4月 1日	西伊豆町と賀茂村合併し、西伊豆町となる
平成18年 8月 22日	青野大師ダム（南伊豆町）が完成する
平成21年 8月 11日	駿河湾を震源とする地震
平成21年 12月 ～	伊豆半島東方沖群発地震
平成23年 3月 11日	東北地方太平洋沖地震（震災の影響による経済被害）
平成24年 9月 24日	伊豆半島の日本ジオパークネットワーク加盟が認定される
平成25年 7月 17日	西伊豆町の集中豪雨
平成26年 2月 11日	東駿河湾環状道路（三島塚原IC～函南塚本IC）開通
平成26年 6月 28日	国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）（相模原愛川IC～高尾山IC）開通
平成27年 7月 8日	東名高速道路、中央自動車道、関越自動車道が接続 韮山反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産」が 世界文化遺産に正式登録される
平成30年 3月 9日	「水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に正式登録される
平成30年 4月 17日	伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに正式登録される
平成31年 1月 26日	天城北道路、下船原バイパス開通
令和1年 9月～10月	台風襲来（9. 8 台風15号、10. 12 台風19号）